琉球大学学術リポジトリ

草稿『南洋群島の研究』第六章 社会 第四節 衛生

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38044

START

REEL No. B-006

琉球大学

矢内原忠雄文庫

史料名	草稿『南洋群島の研究』第六章 社会 第四節 衛生
封筒番号	241
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 14 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号： 241

史料名	草稿『南洋群島の研究』第六章 社会 第四節 衛生
資料形態	B5原稿用紙
枚　数	25
頁　数	43
縦（cm）	
横（cm）	
厚さ(cm)	
書誌的事項	南洋 裏書き18枚、B4南洋廳罫紙2枚含む 今泉分類記号： Y

第四節　衛生

島民は一般に衛生思想に乏しく、甚だ非衛生的（である。こと、殊に乳児哺育に於ての甚だしい）生活様式（習慣）を改めない。但し

人口密度の重要なる原因として認められる。

生活は甚だ非衛生的であり、

時に伝染病或は急性の（伝染病）の流行を受けて生活の（変化）を余儀なくされる。

（固有）の生活様式の中には

衛生上（好性）があった（ものあり、）

不合理（な）衛生の（生活）は

口内を（殺菌）し、害虫を（防ぐ）為の（ネット）を有した。

又（媒介）者は（ハエ）と（カ）とである。

不潔（な）ことも、島民自身の生活に（於）ては（及ばない）。

（殊）に（小さく、窓を（取）（ったもの）が（多い）。

（ハエ）は（人体）に（柳）の油を（注射）する（ほか）、

（蚊）は（伝染病）の（媒介）者であり、

（ハエ）は（伝染病）の（媒介）者であり、

（ハエ）は（伝染病）の（媒介）者であり、

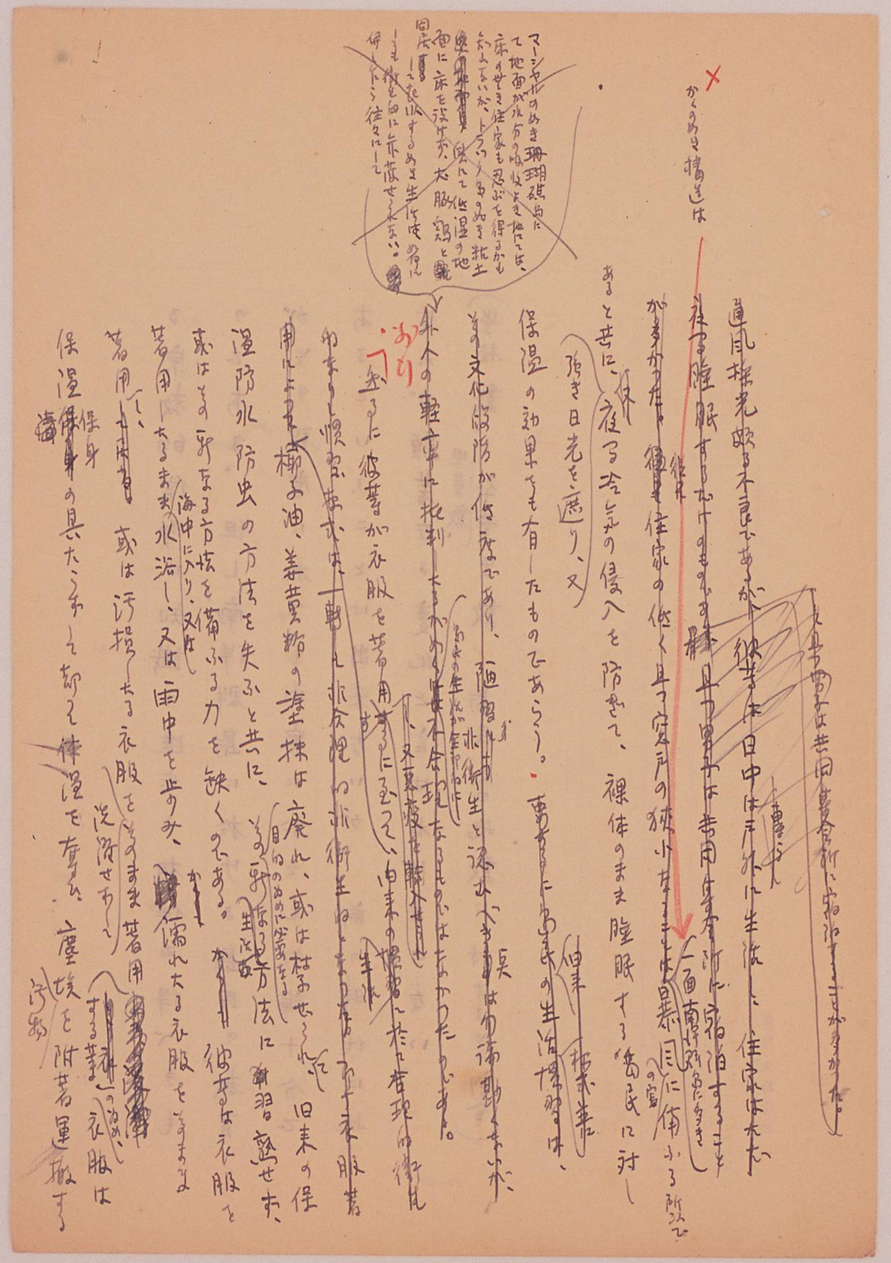
（ハエ

Baukunst — Künste,
文学
Tanz. Lied.
Medizin.
文字
Schrift
Alte Kultur — Völker
Mittel zu Sprachen 数 etc, Moral
Mission School. — Gov. School.
System of Educat.
Möglichkeit!

第三節　教育

島民は固有の薬草による医療の方法を知り又航海天文の知識はあり、其他共同集会所の建築装飾等に於ても其の知能少しも本質的に低劣でないことを示して居る。併し未文字も無く數理の観念に乏しくの上に於て著しく劣って居るから島民の社会を近代化する為めには教育の働きに望む処大である。独逸時代には教育は主として教會附属のミッション

東京文房堂製



る宗教的信仰は知識の進歩と相伴ふ得べきものである。但し南洋群島に於ける島民の教育がその程度に於ても内容に於ても勿論十分であるといふことは出来ないが、前の時代に比すれば顕著なる変化と言はねばならない。

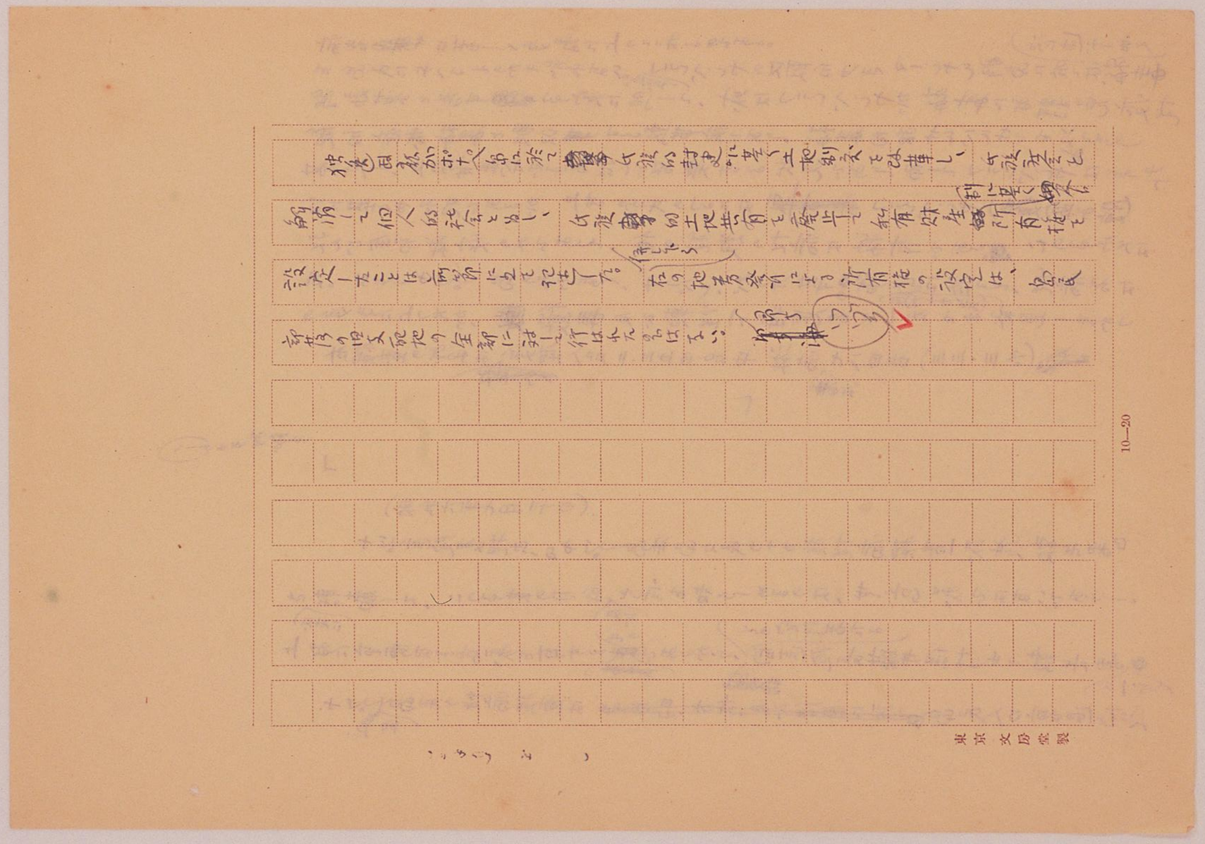
（学校数、（児童数、卒業生数、島民人口総数に対するその割合）

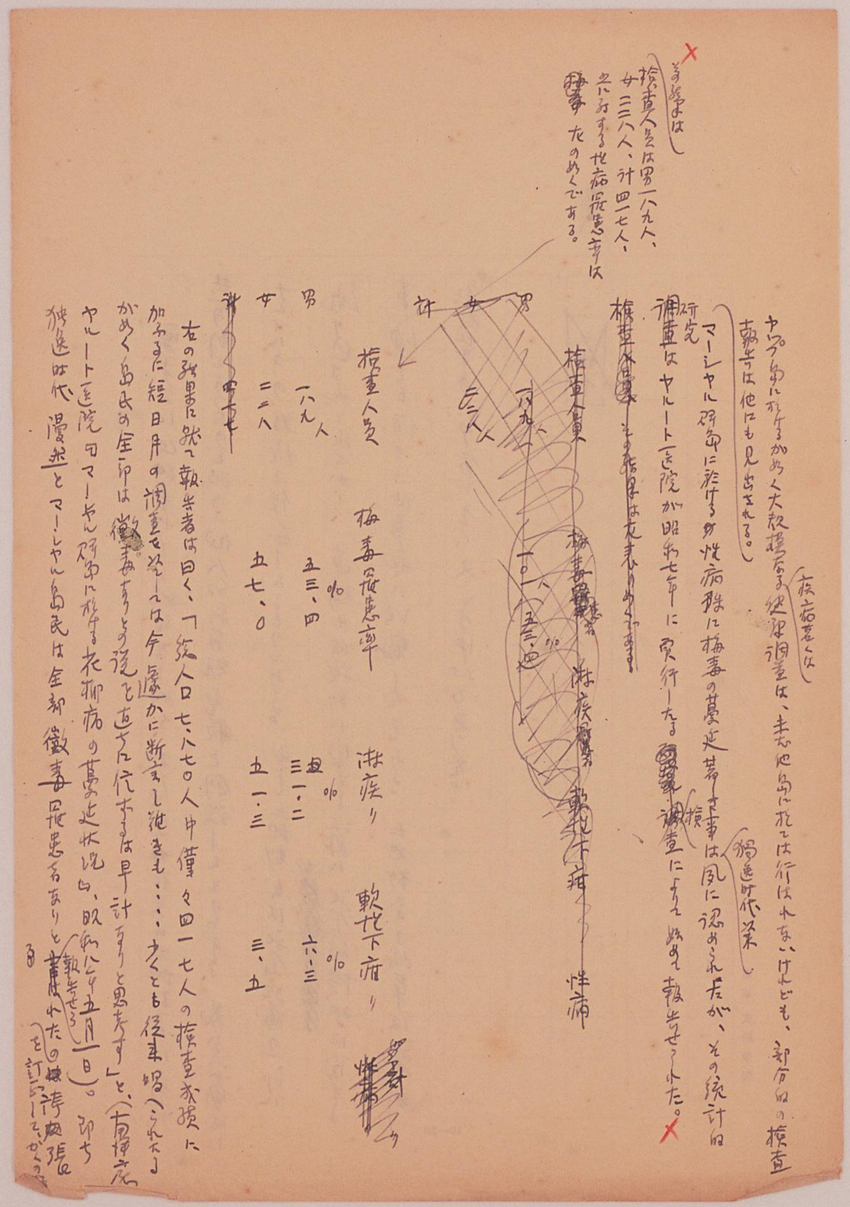
東京文房堂製

境への適合能力（の訓練として、進歩と向上の活気を有せしめ得たし、進歩的意味がある。眞に堅実なることに於てその効果を認めなければならない。改革は青年を以て始めることは凡ての社會の通則であって、南洋群島島民の希望は青年の近代的教育と卑に於て認められる。その近代的知識教育によって破壊せらるるものは、それが島民固有の習慣であるとしても凡て迷信的なものは之を破壊しきるこ

東京文房堂製

部位別	症死数	肺疾死数	生存率
胃	一九五	八三	四三・五
大腸	一二七	八〇	四五・九
乳	一四五	七〇	四八・二
子宮	一三	三〇	二二・三
肺	一七	三	一九・八




男
女
計
一八九人
二三八
四一七
梅毒罹患率
一八九
二三八
四一七
梅毒検査人員
梅毒罹患率
五三、四%
三一、二%
五一、三%
梅毒検査人員
梅毒罹患率
六一、三%
五七、〇
三、五
梅毒検査
梅毒罹患率
梅毒検査人員
梅毒罹患率
梅毒検査人員
梅毒罹患率
梅毒検査人員

一層するに地方庁などの如きは、おおむね多年の土地制度は都
共有制であったのを改め、個人的私有財産制を創設したものであり、我が国情は
ナポレオンの時代を借りたものである。即ち土地制度は政治的改革の一部に
過ぎなかったから、直接土地私有に関する
事項をも併せて地券制に記載したのである。土地制度の改革は政治的
改革の一部分であり、又その中心でもある。

東京 文盛堂製

居るのである。Stamm と近代的なる Star とを
混同せざることは明白である。昔の家に Stamm
の土地は即ち公有地、公有地は即ち官有地と
いふ簡單なる論理を以て地券発行なき土地を
凡て官有地に編入することは、島民の現実の
土地利用権を實害する限り不法である。但し
現実利用の範圍に属せざる土地に就ては之を
官有地に編入する理由が存在するであらう。

東京文房堂製

御依頼ノ件御返事申上候

矢内原博士殿

長崎協三

結核傳播ノ狀況程度

結核患者ノ診ヲ乞フモノ少數ニシテ昭和八年自一月至六月外來島民患者壹四七六名中肺結核壹七、保菌者ノ數ハ參參名ニシテ夜ヲ氣溫低下ニ對シ身體ノ抵抗ニ適當ナル衣類寢具ヲ有セザル島民ノ呼吸器疾患ニ犯サレ易ク且衆族ノ一家屋ニ群居スル事ヨリソノ傳播モ亦比較的容易ナルヲ以テ結核患者モ相當數ニ達スルヲ思考サルモ今ノ調査ニテハ未ダ存在スルト想像シテ可ナランカ

琳疾傳播ノ狀況程度

琳疾ハ島民ヲシテ終ヲ見ル迄罹ル名稱ニシテ下ニ當然一度ハ罹患スベキ一種ノ疾病ナリト思惟セラレ其ノ流行的蔓延ハ阻擧スルニ難カラザレ共未疾患ノ以テ診療ヲ乞フモノ極メテ少數ナリ

八乙有參年春秋發動期ヲ經過セル青年八四名ニ就キ尿中琳菌ヲ証明セルモノ四七、六名ニ付四、青年ニ就テノ成績ナルモ島民全体ノ個性素ハ類ル

南洋廳

（菅田）

（欧文中紙全紙寸紙）

高キヲ寄ノ好資料メリト信ズ

寄生虫ノ傳播程度

寄生虫病ハ主トシテ腹痛ノ下ニ或ハ便中ニ虫ヲ發見シ來涙スルモノヲ多ク見ルハ小兒ナリ而シテ殆ンド全島ヲ通ジテ存シ離島ニ於テモ相当存在スルモノ如シ

昭和八年左ノ一公學校生徒貳七參名中十二指腸虫卵保有者壹壹名蛔虫卵保有者貳七名其他貳九名ニシテ貳四、五%ニ相当ス

昭和八年上半期本渡外来患者中寄生虫病患者ハ約四%ニスギスコハ診ヲ乞ヒタモノ少キニ起因スコレヨリシテ大体ニソノ傳播ノ程度ヲ知ルコトヲ得

南洋廳

日本統治ノ以後悪疫ノ多ク特ニ死亡數多數ナリシ年重ニ其ノ病気

大正拾貳年貳七參名（壹貳名死亡）急性気管枝炎

大正拾參年壹貳參名（四五名死亡全島）急性気管枝炎

大正拾四年大正旬ヨリ（壹四名死亡）（島廳有參七名）百日咳

昭和四年五月一七日（約百名死亡）流行性感冒

昭和八年貳月一八日（約貳拾名死亡）百日咳

（雷田艸）

改良半紙全國原紙

又全例のうち本林などのように後に示し、必ず検行の一部として（五行）
を実行するが、一九三〇年に於ける検査成績については七三九六%
に於ける有明海苔漁場の被害人員については一〇万四三二五人
に於ける被害人員については一〇万四三二五人
に於ける被害人員については一〇万四三二五人
に於ける被害人員については一〇万四三二五人

商品であることは勿論、有ふまでもない。

彼等はその所有する貨幣を資金化することなく、

宛も之を退蔵するものの如くである。南洋群島に未だ銀行無く、貨幣の流通も多くは邦人の手にあるのであるが、島民は之を利用すること少なく、其の理由は古い習慣に囚はれて居たが、日本統治後商店は

(注) 独逸時代に島民が政府に提金したもの、日本海軍の占領後没収を受けたりしことあり、島民は其の後両者の関係を恐れるといふ。ヤップ島民の談に、独逸領時代には「独逸政府に於ては土人の為に学校を設けて教育をなし、又商売の仕方を教へてくれる、故に政府には感謝の念を持つて居た」。

チヤモロ族の豪家にアダといふ一家がある。独逸領時代にはサイパン島に於て相当な雑貨商を営み、且つ椰子油を原料として石鹸製造の工場を経営して居たが、

土地には之を人口に比例して増加せざるが故である。

計を支持すべき合理的基礎を缺くが故である。

元來土地の穀物生産力を人口の増加力に比べて法則的に小であるとの事は

異は農家一戸当りの穀物生産量を減ずると共に

穀物価格を高め、従って工業的生活資料に対する穀物の相對的購買力を増加する。之れによつて農業の生計上穀物生産量の不足を價格の騰貴を以て相殺し得るの理である。

穀物の生産を増加し、其の

支配的

経済勢力

資本主義

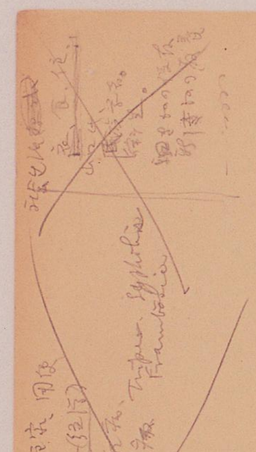
穀物の生産は植民地に於て

移入によつて穀物價格の高騰を阻止し、或

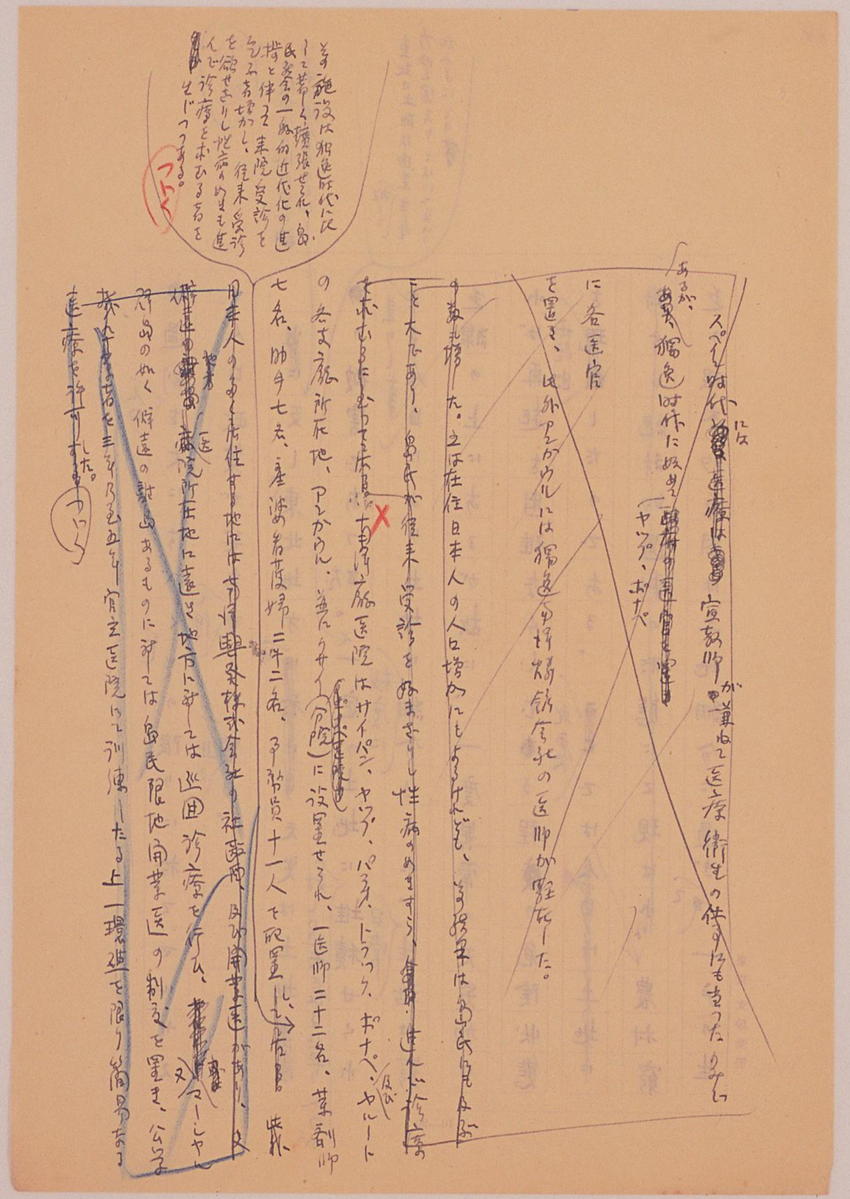
生産者に對して二次穀物の影響を与へる一定量を生産する為に要する一定量の土地から收穫せられる穀物量を減ずると共に、他方に於ては商業需要に對する供給不足の傾向に基きて

東京文盛堂製

予防衛生



東京文理印刷



(すか)

大垣地方の凶作実が
過去の統計なりしに

東北の土地は由来生産
力貧寡なりとはいへない。
加ふるにその実

(据し)

(人口)

四過剰を大にすべくその限りに於てマルサス
の人口政策が妥当(し得)するに(止ま)る。
又し東北地方の(の)如く天災は土地(の)生産
力に対し過去長きに亘り人口が
(まり)し等
たる人口により土地は(極度に)細分せられ、(日常)生活は窮
め(た)ら(く)一定の土地に堆積せられ
の被害であつた。
(此点)では今日は土地に
(両説出)したのである。
を現
れば再起を困難ならしむる程度の危険状態
毛線の上にあるが故に、一度異常の天災加は
対する絶対的過剰の形態にて現はれ、農村窮
毛の根本的原因は土地細分に過ぎて一戸の生

東京文房堂製

計	一〇九	一〇九
ヤミ・カルテル	一三	一三
ヤミ・プレミアム	四四	四四
ヤミ・ドル	三五	三五
ヤミ・ポンド	一五	一五
ヤミ・マルク	一〇三	一〇三
ヤミ・ライヒスマルク	一三	一三
ヤミ・金	一	一
ヤミ・銀	一	一
ヤミ・ダイヤ	一	一
ヤミ・ルピー	一	一
ヤミ・ルーブル	一	一
ヤミ・ポンド	一	一
ヤミ・ドル	一	一
ヤミ・マルク	一	一
ヤミ・ライヒスマルク	一	一

この一切の災害の為めに
将来に対する労働の
用意の造制と
いでおう。之を私有
体について
災害を生ずる
の永久即ち
限り、人口
因るに対
のみ待に即して
べき問題

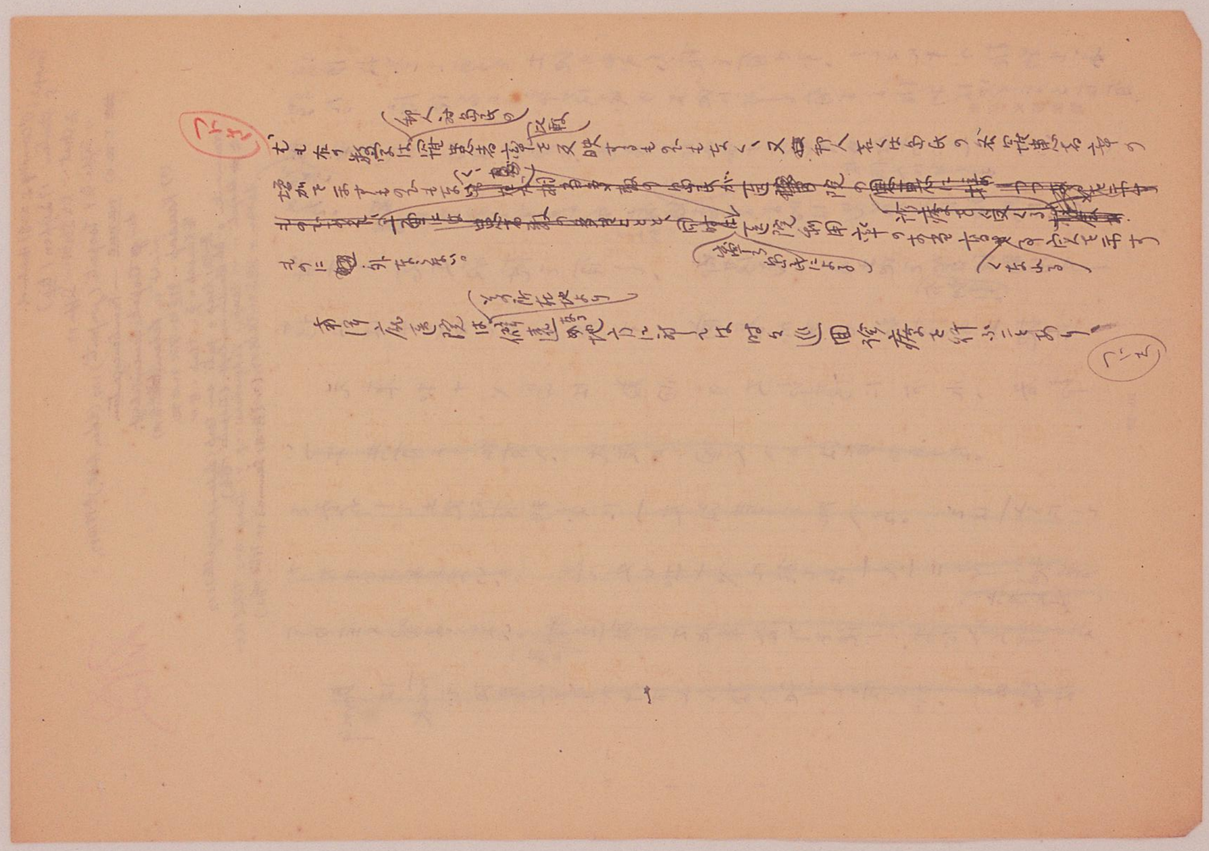
商品の市場が維持（せられ又は）
れ得る限り、需要（富より）
に対する需要（は收縮せず、）
満則によって作出せられる人口過剰は（能く）
又人口理論の説明し得るところでない。
第二章 我国産業資本ず活発に活動し得る限り、
労働に対する需要は毎年（も新）
加の増すであらう。（たゞ）資本家的
生産の拡張の速度が緩慢となり、（のみなけ）
増加率も亦緩慢となれば、固定的

（国外的及び国内的に）
（せられなくは）
（富より）
（は收縮せず、）
（能く）
（たゞ）
（のみなけ）
（に近づくれば、）

東京文房堂製

右の患者数の
昭和二年 五二二 内、男 人口五〇、二四人（同上）に対して 三四・七 外が
市好原医院の診療を受けた。但し
ある大きなことは病名の多きに基くものもあるが、
受診二度を以て一名の比率に大である。受診者数の

たる大阪地方の風水害であり、一は我国に於て最も資本主義の発達幼稚なる東北農村の凶作併発の風水害である。高度の独占資本と封建的色彩を帯ぶる濃厚なる農村との同時生存による我国経済機構の特殊性を此の二つの天災程明白に暴露したものはない。大阪地方に於ける風水害は経済的に見ても主として資本の被害であり、又東北農村の凶作は日本資本主義の発達過程に於ける過去の蓄積によって、或は新たな資本の導入によって恢復せらるべく、又は軍需品として生産物たる海外市場に於て



Ponape (O'Connell p. 228) Hainbuch.
5 Stealen. (7 Siffen (tip)
各 Stoat -- 夫々区別ある Siffe アリ.
ソノ Siffe 又ハ tsopeiti (jonpeiti) トイフ (Lehen Adel) 全然別ナリ.
エロウ nanue — Familiencigentum
der tsopeiti = Gemeinschaft;
nicht zu Lehen (縁ニ有ラズ)
(2) Kausap — 封建ノ一ツノ区ニ ナル土地.
各 Kausap ハ又 = tsap = 当ル.
各個ノ tsap ヲ paki en tsap (Lehenparzelle) トイフ
Nanmaiki の Gemeinschaft (tsopeiti 各集)
各 tsopeiti ハ ソノ tsap ノ Lehenherr ニアラズ. ソノ tsap ハタヽ Titel ばかり
Lehen ヲ 知ルニハ其 tsap ヲ知ルヲ要ス (コノ点ハ Saumas ニモ Titel ヲ有ス)

Bornio は Truck で四方を走るが、その際は

今や全く変わりがないまでなった。(取ル)

かつてのはなやかさはみるまいか。

土地又はポナペ島に於ては一人一区ニ(各自)地券

を交付して土地許有権を認めんとの計画なるに、大改革を加へた。それは一言にして

共有より私有へ、氏族より個人への改革であった。

元来ポナペ島は数個の大部族に分れ、各部

族には十二ヶ所ニモルキと云ふ商長がありて部族の土地に

対する絶対支配権を有し、部族民に与へた土地を管理(各自)処分

する権利を有(ヒト)する者なるが、其又は姉妹に、甥(ソノ)

(何人ニ対シテモ)に対しても処分に之を与ふるを

得ない。部族民の土地に対する権利は譲渡なき占有、

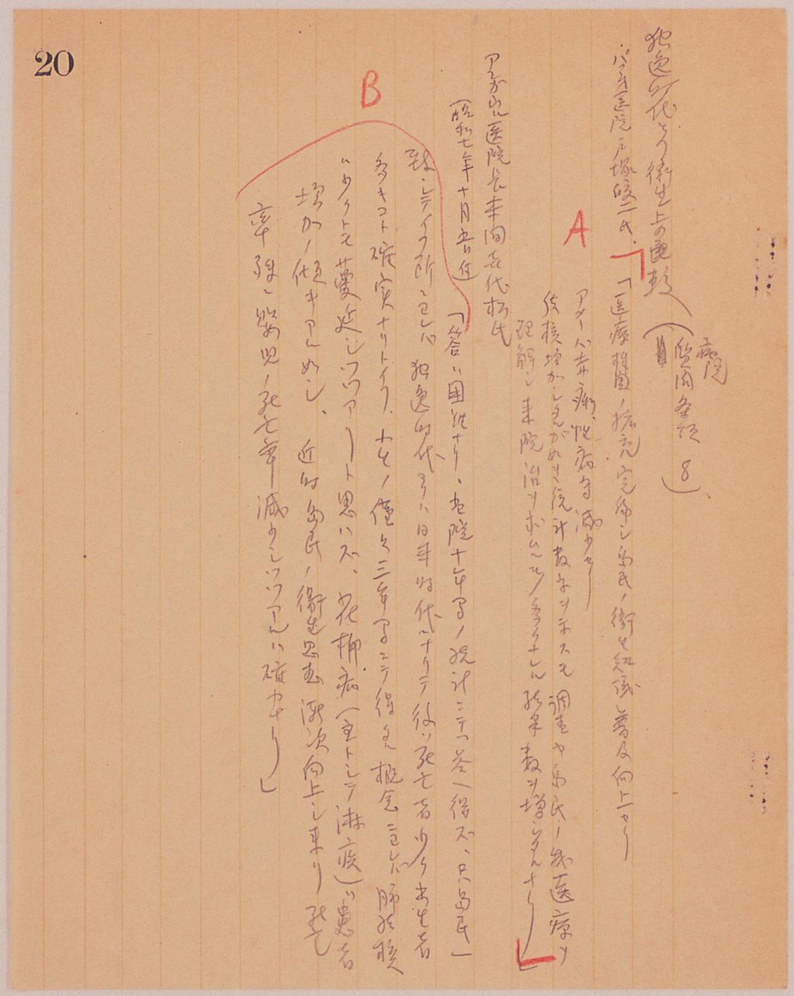
又は物を作ってゐる間丈の使用権を有せず、ただその植物も

発達したものと思はれる（財宝及地位の表象としての石貨）。

ギリヤス村バナナ収穫日の見聞。

石貨貝貨を以てバナナを買ひに来たのか、或はバナナの分配を受けるに就て土産として石貨貝貨を持参したのか、贈答か、取引か、社交か、之を純然たる経済的取引とのみ解することは困難ではなからう——か（『経済』十四頁参照）。

葬式に際しての、貨幣の分配（ミュラー、二五七頁）、舞踊に際しての分配（同上、二五九—二六〇頁、二六二頁）。他部落の舞踊を買ふこと、カニフの踊手をアリゲリが買



東京文房堂製

拠を見出す。(是れ資本主義)

幸は緩慢となり、これに対し或は緩慢となれる利子割引

蓄積の数字に対し

の段階に於て過剰人口は消費者又は労働者の

擡供者の絶対的過剰といふ形で現はれるが故

である。

斯かる段階に於て資本主義

四 大股の風害と東北の冷害

現代日本は資本主義の如何なる発達段階

に位置するか甚の厳密なる規定は(これ為すに)複雑なる

諸条件を考慮しなければならないが、極めて

大綱を言へば、(一方では)活溌なる産業資本の活動を其

(現代)

(分裂)

(現代)

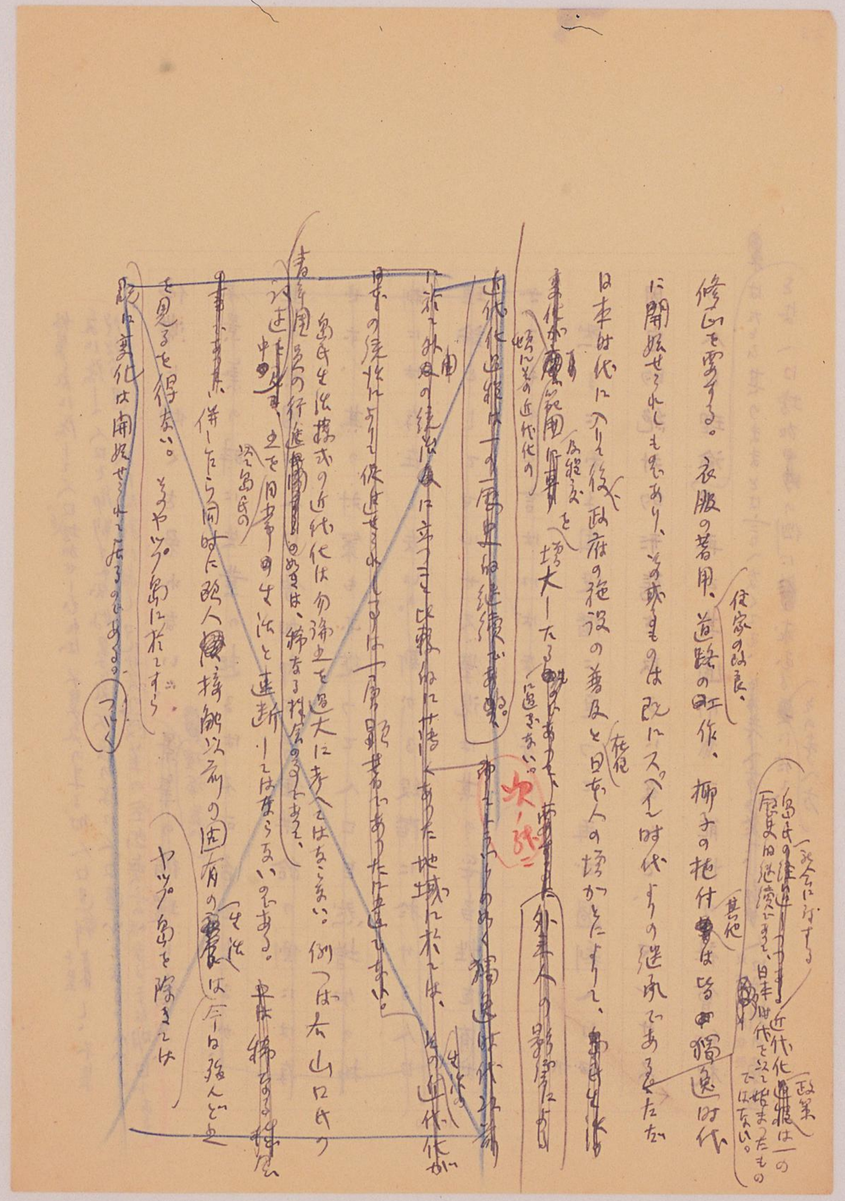
分裂の構造

(近年)

(的に)

(現代日本の社会的根拠が有るのであらうか。)

(現代日本の社会はどの如き生産発達段階に位置するのであらうか。)



停滞に傾くを免れない。（理論並に現実の全般に亙るこの事実の意味するところは明白である。）

不景気に際しては人口増加せざれば、不景気に際しては人口増加せざれば、不景気後の際に人口過少となる。かかる不景気の循環に対しマルサスの人口過剰論は全然無力である。

不景気の時に失業の起るは不可否であるが、其の原因は人口層加即ち労働供給の側には存せず、其の対策も亦従って人口自然増加の抑制には存在しない。斯かる段階に於ける人口理論としてマルサス学説は其の妥当性を有せざるものと言わねばならない。

然るに利子国段階に至って再び過剰人口が固定的絶対的形態を取るに及んで、マルサス

（東京 文房堂製）

の人口理論は再び其適用が可能性の社会的根

（其はたとい其のままとは言わなくても、基本的には、人口過剰の原因をなす人口増加の側に求むるに於て、その考え方）

此の様にパラオの貨幣は大分に宝物的性質社會的贈答の意義を有つものであつたが、併し乍ら一般的に經濟的貨幣の性質を備え、物品貨幣としては頗る複雑なる發達を遂げたものと見られる。貨幣の貸借には利息があり、その両替には手數料もあつたといふ。

今日ではパラオ貨幣は島民間にもヤップの如くには用みられず、一般に日本貨幣が流通して居る。私がアイライ村で或る家の屋根葺き代への所謂金集めを見た時、百弐拾何円

東京女房堂製

る人口過剰の対策は全く意味を為さざるものと言はねばならない。流動的過剰人口の形態は於ける産業豫備軍は人口の増加率に基くも(彼によれな)のではなくて、資本循環の法則に基くもの(である)。まことに明瞭であり、従って新市場拡張等により生産の増加(労働の需要)し、従って人口は増加が刺戟せられる場合、若しくはそれにも、やがて反動として(彼の)後に於ける現はるべき人口過剰を警戒する為め、その抑制(生産収縮期に於ける豫防)に努めねばならぬ。(生産拡張に際して為さんには生産縮小の期に)追加労働を供給するを得ず、(為めに)(人口増加を抑制すべしというのであるか、若し彼の主張に従えば人口増加を)

東京文房堂製